



# RE雨宮Racing 有限会社アール・イー・アメミヤ

〒286-0221 千葉県富里市七栄439-10  
TEL:0476-90-0007/FAX:0476-91-4570  
Home Page:<http://www.re-amemeiya.co.jp>  
E-MAIL:Racing@re-amemeiya.co.jp

## 光る戦略 連続表彰台獲得!

大会名：2009 AUTOBACS SUPER GT Round2 ケービン鈴鹿2&4レース オープニングスペシャル  
開催場所：三重・鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市稲生町7992)  
開催日：3月21日公式練習&公式予選、22日決勝  
入場者数：予選日 22,000人、決勝日35,000人  
レース距離：5.807km×52周  
天候：予選日：晴れ 決勝：晴れ  
路面状況：決勝：ドライ、気温23度/路面温度38度

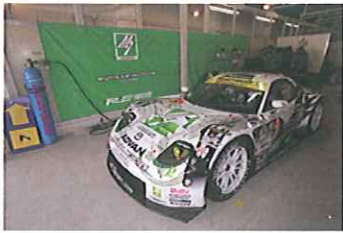
3月に開幕したスーパーGT2009年シーズンは、早くも第2戦目を迎えた。舞台は改修工事を終えたばかりの“新生”鈴鹿サーキット。開幕戦で3位表彰台を獲得し、幸先のいいスタートを切ったM7 MUTIARA MOTORS雨宮SGC-7だが、かわりに22kgのウェイトと今年の車両性能調整に変更があり、追加10kgのウェイトも積むことになる。しかし、その影響を懸念する秀囲気はなく、むしろ“昨年鈴鹿で勝利を果たした”ことでの期待の方がはるかに上回っていた。



3年ぶりのF1開催を半年後に控える世界屈指のテクニカルサーキットは、ピットビルなどの施設だけではなくコースの一部も改修されている。未知の部分もある中、各チームは今季から予選日の午前中に組み込まれた短い練習走行で、まずは火花を散らす。



**RE雨宮**  
RACING



# RE雨宮Racing

有限会社アール・イー・アメミヤ

〒286-0221 千葉県富里市七栄439-10

TEL:0476-90-0007/FAX:0476-91-4570

Home Page:<http://www.re-amemiya.co.jp>

E-MAIL:[Racing@re-amemiya.co.jp](mailto:Racing@re-amemiya.co.jp)

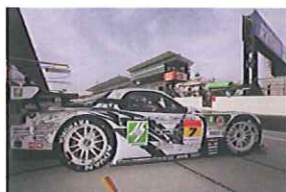
## 公式練習 4月18日(土) 8:25~9:55

公式練習走行は8時25分に開始。やや肌寒さの残る中、気温16℃、路面温度20℃のドライコンデションで行なわれた。#7 RX-7は開始から精力的に走りこみ、セットアップを煮詰めていく。オフのテストデータもなく暗中模索の状態ではあったが、チーム、ドライバーの経験を頼りに最適のセットアップを探り続けた。その結果、29周を走行しクラス7位で終えた#7 RX-7。セッション後、河野エンジニアは「時間が少ないことでやはり、セッティングをつめるのは難しい。ベースから状態を上げていくことが、なかなか出来なかった。でも予選に向け、方向性は見えた」とコメント。そして予選開始までのわずかなインターバルでも気を抜くことなく、セッティング作業は行なわれた。



## 公式予選 4月18日(土) 11:20~12:10

公式予選は、練習走行終了から1時間半後の11時20分から開始された。午後に近づくにつれ日差しは増し、気温は20度、路面温度は30度まで上昇する。#7 RX-7はまず、混走開始と同時に折目選手がコースイン、最初の計測で2'08.750をマークする。その直後、スピンしたマシンがコースをふさいだため、一時セッションは赤旗中断。#7 RX-7は再開後も折目選手が走行を続け、練習走行でのラップ不足を補った。その後、混走終盤になると、代わって谷口選手がコースイン。混走時間内に2週のラップを行い、GT300占有走行開始から早々に出された2度目の赤旗後、セットアップを変更しいよいよアタックに向かう。その1周目、谷口選手はいきなり2'06.570で3位に急浮上。ここからコース上は、上位5~6台による激しいトップ争いが繰り広げられる。目まぐるしく上位のリザルトが動く中、#7 RX-7の谷口選手はそこからベスト更新こそならなかったものの、7位でスーパーラップ進出を果たし逆転に望みをつないだ。



RE雨宮  
RACING



# RE雨宮Racing

有限会社アール・イー・アメミヤ

〒286-0221 千葉県富里市七栄439-10

TEL:0476-90-0007/FAX:0476-91-4570

Home Page:<http://www.re-amemiya.co.jp>

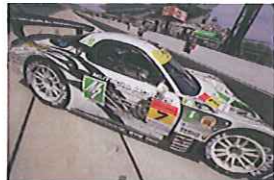
E-MAIL:Racing@re-amemiya.co.jp

## スーパーラップ 4月18日(土) 14:50~

今季から上位8台で争われることになったスーパーラップは、午後2時50分から行われ、た。#7 RX-7のアタック順は2番目。ターゲットタイムは#43 ガライヤがマークした2' 06.422であった。#7 RX-7は、さらにセットアップを変更し逆転に賭ける。そして「目いっぱい攻めた」(谷口)というそのアタックは、わずかなミスを生んだもののトータルタイムは2' 05.414と、#43ガライヤを1秒以上上回る。セットアップ変更は成功であった。その後、このタイムはなかなか破られず、#7 RX-7は最終的に3位へとジャンプアップ。開幕戦を上回るグリッドを獲得し、連続表彰台への期待を膨らませた。

アタック後、谷口選手は「レースでは、前の2台が段違いに速いので序盤に抜くのはキツイ。タイヤがタれてくる後半が勝負。ポイントはむしろ、うちより後ろ。これをどうやって抑え、ピットで負ける分のマージンを稼ぐことが出来るか。正直展開は全く読めない」と、好グリッドを獲得しながらも慎重に決勝を睨んだ。

なお、ポールポジションは今回が初参戦となる#33 ポルシェが奪った。

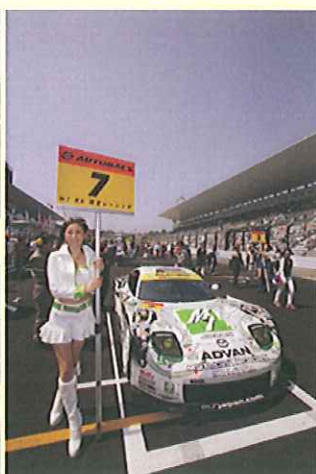


Pos	No.	Driver	Time	Fastest	Laps
1	33	HANKOOK PORR	2:07.820	1:54.8 BEST	7:01.818
2	31	ダイソン アラン FB	2:08.319	1:57.0 BEST	7:05.414
3	7	GT500	2:08.514	1:57.0 BEST	7:05.787
4	2	GT500	2:08.787	1:57.0 BEST	7:06.826
5	48	GT500	2:08.826	1:57.0 BEST	7:06.422
6	42	GT500	2:08.826	1:57.0 BEST	7:06.422
7	11	GT500	2:08.826	1:57.0 BEST	7:06.422
8	18	GT500	2:08.826	1:57.0 BEST	7:06.422

GT500 スーパーラップ 開始予定時刻 15:06

## 決勝レース 4月19日(日) 14:00~ (52LAP)

決勝日の鈴鹿は前日同様、快晴に包まれた。しかし午後2時のレース開始時刻には気温23℃、路面温度は38℃まで上昇し、コンディションは前日とはやや異なる。





# RE雨宮Racing

有限会社アール・イー・アメミヤ

〒286-0221 千葉県富里市七栄439-10

TEL:0476-90-0007/FAX:0476-91-4570

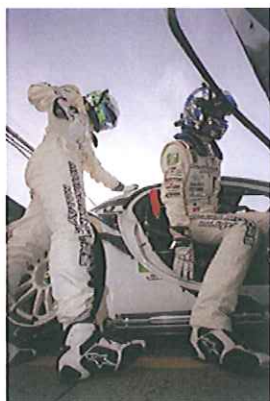
Home Page:<http://www.re-amemiya.co.jp>

E-MAIL:[Racing@re-amemiya.co.jp](mailto:Racing@re-amemiya.co.jp)

波乱のないスタートから始まったレースは、オープニングラップでの上位の順位変動はなかった。谷口選手がスタートドライバーをつとめる#7 RX-7も、3位で通過する。その後は懸念されていた通り、トップの#33ボルシェと2位の#81フェラーリのペースが速く、#7 RX-7は徐々にその差を広げられるが、後ろからの追撃を受けることもなく序盤は3位をキープ。そして、膠着状態は20周を過ぎるあたりまで続く。谷口選手はなかなか前に近づくことが出来なかったが、これには理由があった。



上位が展開を見せたのは中盤、ピットインによるものだった。最初にピットに入ったのが#81フェラーリ。しかし給油に手間取り、大きくタイムロスしてしまう。その後23周目にトップの#33ボルシェがピットイン。#7 RX-7は上位で最も遅い28周目にピットインした。そして、ここが勝負と見たチームは、無線で谷口選手にタイヤの状況を確認すると「タイヤ無交換作戦」を決行。クルーはわずか22秒で折目選手を送り出し、2位に順位を上げるのだった。朝のフリー走行のデータからタイヤ無交換で行ける可能性を確認していたチームだったが、谷口選手はなんとしてもこれを成功させようと、3位をキープしながらタイヤを温存していたのだった。



開幕戦と同じく2位でバトンを受けた折目選手。しかも思い切った作戦が奏功しトップとは約5秒の差にまで縮まっている。すでに30周近く走ったタイヤで、残り周回を上位と同じペースで走り切ることはかなり難しい状況だったが、この作戦の本当の成功は折目選手が最後まで順位を守ることにある。折目選手は踏ん張った。さらに残り約10周となってからは徐々にトップのペースを上回り始め、チェッカーぎりぎりまでトップに追いつく公算が微妙に見えてくる。猛プッシュする折目選手。しかし、残り4周となったところで無情にも、多重クラッシュが発生しセーフティカーが出された。結局解除はなく、#7 RX-7はそのまま2位でチェッカー。しかし堂々の開幕2戦連続表彰台を達成した。なお優勝は、#33ボルシェが、チーム初のポール・トゥ・ウィンで飾った。



# RE雨宮Racing

有限会社アール・イー・アメミヤ

〒286-0221 千葉県富里市七栄439-10

TEL:0476-90-0007/FAX:0476-91-4570

Home Page:<http://www.re-amemiya.co.jp>

E-MAIL:Racing@re-amemiya.co.jp



雨宮監督「2日間開催になりセッティング面で非常に厳しい中、本当にみんな頑張ってくれた。100%の出来だと言っていい。谷口がタイヤを温存してくれたことや、その後の折目の走り、チームみんなの頑張りに繋がった」

折目選手「最初作戦を聞いた時は冗談だと思ったんですが、やってみたらまんざらでもなかった。この作戦が実行されたのはチームが自分を信頼してくれている証拠だと思うし、それで結果を残せたことは自信になります。次からは重さとの戦い。セッティング面ではチームを信用しているので、自分がそのマシンに



谷口選手「タイヤ無交換で最後まで行けたことはすごいことだと思う。予想以上の、最高の結果で終わった。次の富士はウェイトハンデが効いてくると思うけど、“そこからどれだけポイントを積み重ねることが出来るか”が重要なので、チームと折目と力をあわせて頑張ります」

前の2台にラップペースでかなわないことを分かった上で、最善の戦略とドライバーの力であわや優勝まで持っていった#7RX-7。しかも、予選日よりはるかに路面温度が高かった中、それを成功させたのである。そのチーム力の証として、ランキングはトップへと躍り出た。第3戦（富士/5月4日決勝）からは、トップを守る戦いが始まる。

## 2009 AUTOBACS SUPER GT Round 2 Event Report

- 大会名称 : 2009 AUTOBACS SUPER GT 第2戦 ケーヒン鈴鹿 2&4 レース オープニングスペシャル
- 開催日 : 2009年4月18日(土) スーパーラップ(公式予選)  
2009年4月19日(日) 決勝レース
- 会場 : 鈴鹿サーキット 5.807km  
三重県鈴鹿市稲生町 7992
- 主催(SUPER GT) : 関西スポーツカークラブ(KSCC)、鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)、  
株式会社モビリティランド
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA) 社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定 : 株式会社GTアソシエーション
- 同日開催 : MJF 全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦(JSB1000)
- 入場者数 : 予選22,000人 : 決勝35,000人

■参戦台数・車種・メーカー数 : 36台/31エントリー : 車両 12メーカー/18車種 : タイヤ 6メーカー

### ■公式予選結果 (TOP 3/Super Lap) 2009.4.18 (土) | 天候 : 晴れ | コース : ドライ

Class/Po.	No.	Car	Driver	Time	Tire	W.H.
500-1	1	MOTUL AUTECH GT-R	本山 哲*/B.トレルイエ	1'53.487	BS	--
500-2	38	ZENT CERUMO SC430	立川祐路*/R.ライアン	1'53.733	BS	10kg
500-3	3	HASEMI TOMICA EBBRO GT-R	R.クインタレリ*/安田裕信	1'53.790	MI	--
300-1	33	HANKOOK PORSCHE	木下みつひろ/影山正美*	2'03.836	HK	--
300-2	81	ダイシン アドバン Ferrari	青木孝行*/藤井誠暢	2'05.379	YH	--
300-3	7	M7 MUTIARA MOTORS 雨宮 SGC 7	谷口信輝*/折目 遼	2'05.414	YH	22kg

□\*=スーパーラップアタックドライバー □W.H.=ウエイトハンデ

### ■決勝結果(TOP3) 2009.4.19(日) (Start: 14:05) | 天候: 晴れ | コース: ドライ | 52Laps (301.964km)

Class/Po.	No.	Car	Driver	Time	Laps	Best Lap	Tire	W.H.
500-1	38	ZENT CERUMO SC430	立川祐路/R.ライアン	1:54'52.997	52	1'56.817	BS	10kg
500-2	36	PETRONAS TOM'S SC430	脇阪寿一/A.ロッテラー	1:54'54.885	52	1'57.574	BS	--
500-3	12	IMPUL カルソニック GT-R	松田次生/S.フィリップ	1:54'58.207	52	1'57.288	BS	16kg
300-1	33	HANKOOK PORSCHE	木下みつひろ/影山正美	1:55'31.677	48	2'06.738	HK	--
300-2	7	M7 MUTIARA MOTORS 雨宮 SGC7	谷口信輝/折目 遼	1:55'35.331	48	2'07.712	YH	22kg
300-3	46	エスロード MOLA Z	星野一樹/柳田真孝	1:55'38.703	48	2'07.752	YH	8kg

□Tires=BS:ブリヂストン MI:ミシュラン YH:ヨコハマ HK:ハンコック

- 賞典 「主催者賞」 GT300 1位#33 2位#7 3位#46 GT500 1位#38 2位#36 3位#12
- 「オートボックス賞」 GT300 #33 GT500 #38
- 「ベストオーバーテイク賞」 GT500 #38
- 「ラ・スル・グロワ賞」 GT300 #33 #7 #46 GT500 #38 #36 #12

- 放送 4月18日14:25~予選LIVE中継 (J sports ESPN)
- 4月18日23:00~予選再放送 (J sports ESPN)
- 4月19日13:30~決勝LIVE中継 (HV) (J sports Plus)
- 4月26日22:00~ /4月29日19:00~ (再放送) (BS 日テレ)
- 4月26日/5月 3日 17:30~18:00 『激走!GT』 (テレビ東京系列6局ネット)
- 4月26日17:00~ 『オンボードカメラ+』 (J sports ESPN)
- 5月 1日17:30~ 『15ミニッツ-第2戦ダイジェスト』 (J sports ESPN)

本大会の詳細/SUPER GT の最新情報は <http://SUPERGT.net/> をご覧ください。



# RE雨宮Racing

有限会社アール・イー・アメミヤ

〒286-0221 千葉県富里市七栄439-10

TEL:0476-90-0007/FAX:0476-91-4570

Home Page:<http://www.re-amemiya.co.jp>

E-MAIL:Racing@re-amemiya.co.jp

## 2009 SUPER GT RD2 鈴鹿

### 予選結果

順位	ゼッケン	車名	ドライバー		タイム
1	33	HANKOOK PORSCHE	木下みつひろ	影山正美	2'03.836
2	81	ダイシン アドバン Ferrari	青木 孝行	藤井 誠暢	2'05.379
3	7	M7 MUTIARA MOTORS雨宮SGC 7	谷口 信輝	折目 遼	2'05.414

### 決勝結果

順位	ゼッケン	車名	ドライバー		周回数
1	33	HANKOOK PORSCHE	木下みつひろ	影山正美	48
2	7	M7 MUTIARA MOTORS雨宮SGC 7	谷口 信輝	折目 遼	48
3	46	エスロード MOLA Z	星野 一樹	柳田 真孝	48

## 2009 SUPER GT POINT RANKING

### ポイントランキング チーム

順位	チーム	ポイント
1	M7 RE雨宮レーシング	32
2	RACING PROJECT BANDO	29
3	AUTOBACS RACING TEAM AGURI	27

### ポイントランキング ドライバーズ

順位	ドライバー		ポイント
1	谷口 信輝	折目 遼	26
2	織戸 学	片岡 龍也	23
3	新田 守男	高木 真一	21